

岐阜県家庭教育学級実践事例

在宅取組型(小学校)

学校名等	輪之内町立福東小学校
実施日時	夏季休業中
会場	各家庭
参加人数	1年生16世帯の親子
学習課題(分野)	ハッピー!サンキュー!おてつだいビンゴ(自立心・思いやり・家族の大切さ)
運営者の願い	各家庭で子どもが親と相談して簡単に取り組める内容のお手伝い(仕事)を決める。お手伝いに取り組むことで、親への感謝の気持ちを表すことができ、家族の絆を深めることにつながってほしいと考えた。

学習の内容

子どもを取り巻く問題を考え、家庭生活の重要性を理解し実践する。

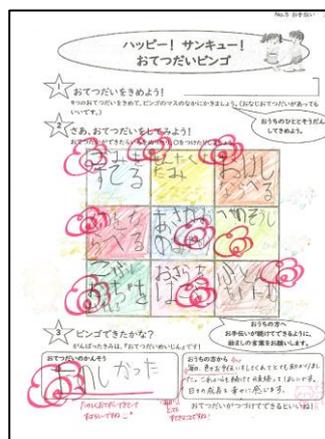
<取組内容>

- 1 親子でお手伝いを決める
9つのお手伝いを決めたら、ビンゴカードに記入する。
- 2 お手伝いをしたらビンゴカードに色を塗る。
- 3 ビンゴが完成したら、親子で感想を記入する。

<お手伝いの内容>

実際に取り組んだお手伝いは以下の通り。

- 1位 掃除(風呂、廊下、トイレなど)
- 2位 靴並べ
- 3位 洗濯物片づけ
- 4位 テーブルふき
- 5位 料理



【実践カード】

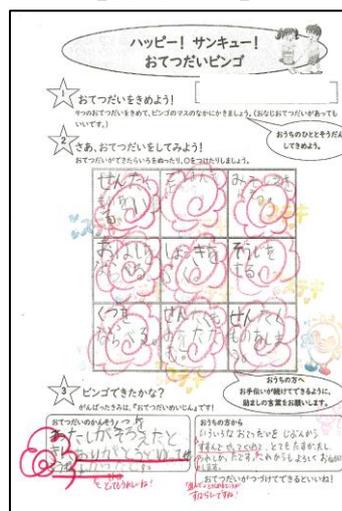
<アンケートより>

児童

- ・ わたしがくつをそろえたとき、「ありがとう」といってもらえてうれしかったです。
- ・ おてつだいをすることがたのしかったです。
- ・ ママがよるこんでくれたのでうれしかったです。

保護者

- ・ いろいろなおてつだいをじぶんからすすんでやってくれてとてもたすかりました。
- ・ おとうどのおせわをしてくれてたすかりました。
- ・ このビンゴをきっかけにいつもはやらないおてつだいをしてくれました。これからもつづけてくれるとうれしいです。



<主催者の感想>

- ・ 夏休みに、県の様式からビンゴカードを参考にさせていただき取組を考えた。親子でお手伝いを考えて、子どもたちは楽しんでお手伝い活動に取り組み、保護者の感想からも大変好評だったことが分かった。また、この活動をきっかけにしてこれからも進んでお手伝いに取り組んでほしいと思った。



家族の絆・自己有用感

夏休みに、お手伝いの内容を親子で決めて、ゲーム感覚でお手伝いをするので、楽しんでできたことがよかった。お手伝いを通して、親子の絆が深められたと思う。子どもは家族の役に立つことで、自己有用感が得られた。

